

## 2

### 「私のまち」を「私たちのまち」に ～連携で広がる地域の可能性～

会場

関内ホール  
小ホール

13:15～16:00  
定員 130名

住民、福祉施設、企業、NPOなど地域にある様々な主体がつながり、取組を進めていくことで、地域の課題解決やまちづくりの新たな可能性が広がります。それぞれの強みを生かした連携のポイントについて共有します。

コーディネーター：武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科 教授 渡辺 裕一 氏

- 実践報告
- 麦田町発展会・児童養護施設 聖母愛児園・麦田地域ケアプラザ (中区)
  - 特別養護老人ホーム 白寿荘・養護老人ホーム 白寿荘  
いずみ野地域ケアプラザ・泉区社会福祉協議会 (泉区)
  - 小菅ヶ谷地区社会福祉協議会・株式会社ケイサンタクシー  
栄区社会福祉協議会 (栄区)

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



## 「私」と「私たち」

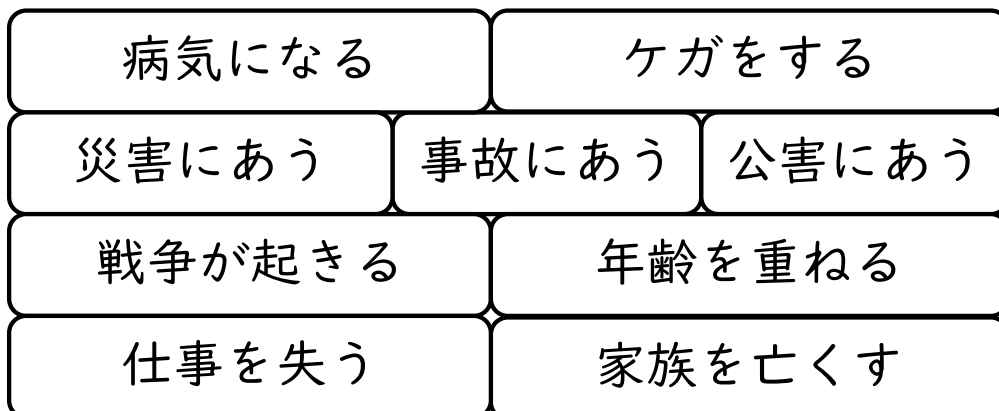
- 「私」がまちで「ひとりじゃない」と思えた時、「私たちのまち」になる。
- まちの誰かに起きた出来事が「私」と「つながっている」と思えた時、「私たちのまち」の出来事になる。
- 困っている人の問題が「私」の問題でもあると思えた時、「私たちのまち」の問題になる。

世界の幸せをカタチにする。



## 多様化・複雑化する人・人々の生きづらさ

- 人が自分らしく生きるのを妨げる人生のリスクは、たくさんある。例えば・・・



自分に関係ない、という方はいない

世界の幸せをカタチにする。



## 地域にある問題の複雑化・多様化

- 困っていることが、いくつもある。
- いくつもの困難が、複雑に絡み合っている。

- 要介護×低所得×孤独
- 病気×一人暮らし×多重債務
- 介護×子育て×失業×アルコール依存
- 子どもへの虐待×不安定就労×多子
- 言語×偏見・差別×病気
- . . . . .

困難がかけ算で発生する

世界の幸せをカタチにする。



生きづらい

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Happiness and Well-being in the World

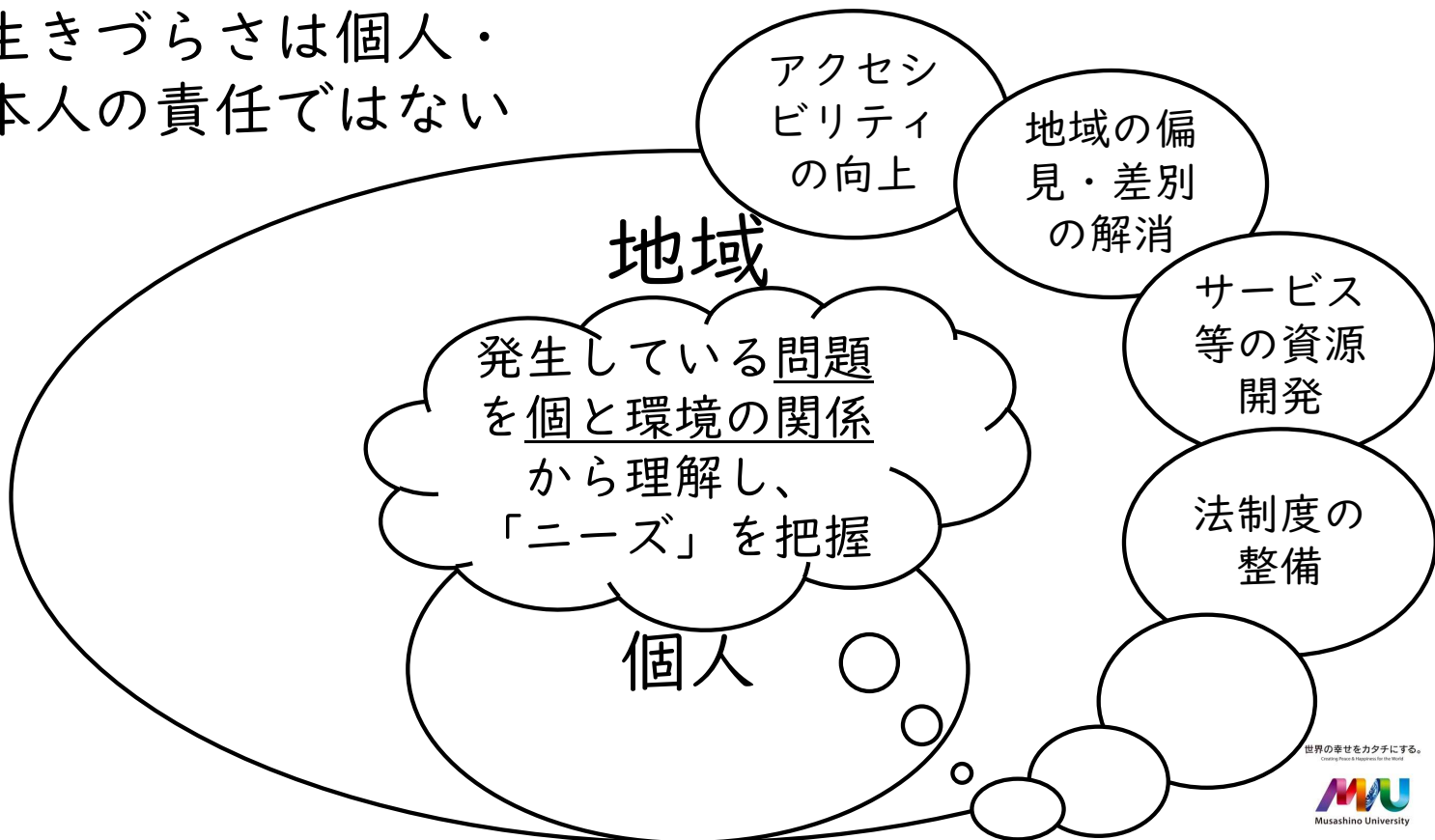


「私たちのまち」を  
誰もがともに安心して暮らせるまちにするために

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Happiness and Well-being in the World



生きづらさは個人・  
本人の責任ではない



まちとつながっていない「私」たち

- 人・人々、組織・団体、機関、会社・・・・
- 持ちうる力を発揮することができない。
- 他者から存在を認められない。
- まちの中に自分の居場所が感じられない。

多様な人・人々、組織・団体、  
機関、会社がつながり合う社会に向けて

誰もが「私のまち」と感じられる場所をつくる

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Happiness and Prosperity for All



誰もが「私たちのまち」と言える  
つながりを感じられる地域社会をつくる

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Happiness and Prosperity for All

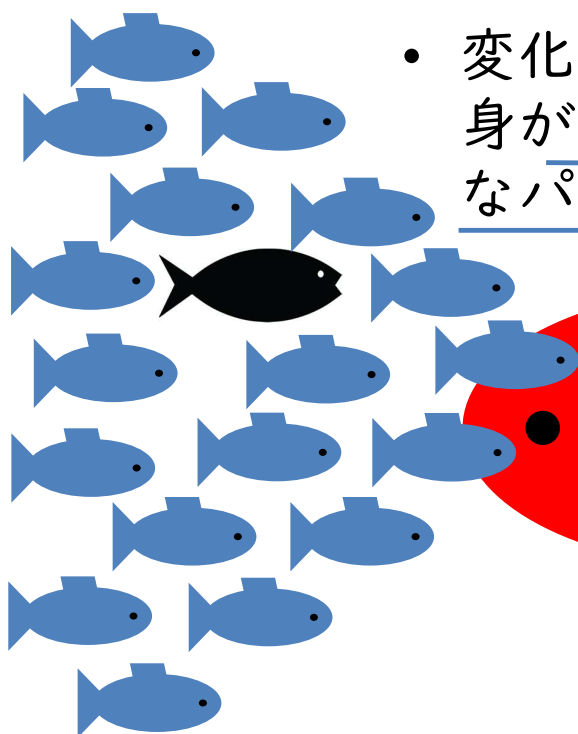


多様な人・人々、組織・団体、機関、会社がつながり、連携して、地域の可能性を広げる

世界の幸せをカタチにする。



人・人々、組織・団体、機関、会社等がつながる



- 変化を必要としている人たちが自身が、変化を起こすために必要なパワーを作り出すため

世界の幸せをカタチにする。



かけ算でやってくる困難に、  
「私たちのまち」はかけ算で立ち向かう

世界の幸せをカタチにする。



「私たちのまち」は、かけ算で、資源を生み出す。

○ ○ × ○ ○ × ○ ○

世界の幸せをカタチにする。



# 事例発表

○ ○ × ○ ○ × ○ ○